

はじめに

序論……………一

1 原始的靈長類……………二七

ヒトの進化を可能にする諸条件……………二七

ヒト科動物の脳と思考の系統発生的側面……………三三

直立姿勢の重要性……………三〇

一般化の環境的背景……………三九

個体発生と一般化……………四四

証拠の論理とその帰結……………五〇

2 約束するサル——構造……………五五

創作物——複雑な脳の意味……………六五

ヒト上科における社会組織……………七三

相対性——人間関係はどのようにして可能になるか	一九
父性と親族関係	一九
インセスト・タブー	二〇
婚姻	二五
3 約束するサル——内容	三三
意識	三三
個体化	三六
約束	四三
技術——再生産の生産	五三
4 食生活の考察	六三
事物についての思考	六三
ヒト上科の食性	六九
人類の食性の進化	七七

初期人類——要約	一九〇
食物と脳	一九九
美食家の人類	二〇六
結論	二三二
付録——親族関係のメタファー	二三五
訳者あとがき	二三五
文献	
索引	

